



一 誠



- よく考え進んで学ぶ子
 - 明るく心の豊かな子
 - じょうぶでたくましい子
- 令和5年7月21日

6月実施 いじめ調査の結果

毎年、全道の小・中・高等学校では1学期と2学期にいじめ調査を実施しています。日常的に学級担任を中心に全教職員が「いやな思いをしている児童はいないか」についてアンテナを張り、子どもたちへの声かけや指導を心掛けていますが、それだけではつかみきれていない実態について、アンケート調査で把握しています。今年度は6月中旬に、児童一人一人にアンケート用紙を配付して調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【いじめの定義】(文部科学省)

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。

1 今年の4月から今日までにいやな思いをしたことがありますか。どのようなことをされましたか。

	ある・ない		いやな思いをした内容(複数回答)							
	ある	ない	冷やかし や悪口	仲間外れ・ 無視	軽くぶつ かる・た たかす・	ひどくぶ つかる・た たく・ける	もちもの へのいた ずら	恥ずかしい行 動や危険な行 動をさせられ る	メールや アプリで の悪口・仲 間外れ	その他
全学年 (実施 児童数 450人)										
人数										
割合										
昨年度										

2 (1で「ある」と答えた児童の中で) いまでも(6月アンケート実施時点)嫌な思いをしていますか。

(いやな思いをしたことがあると答えた1年生25名は除く)

している… 名 → 解決済み	していない… 名
------------------------------	-----------------

今年の4月からいやな思いをしたことのある児童のうち、「いまでもいやな思いをしている」と答えた**名**については、学級担任を中心に面談や聞き取りをおこない、思いを受け止めたあとで相手に指導したり話し合いの場を設けたりすることで、**すべて解決しています**。しかし、同じことが繰り返されることもあることから、引き続きアンテナを張って見守りや指導を続けています。

3 いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか。

	そう思う	そう思わない	わからない
2年生以上388人中			
割合			
昨年度			

「そう思う」と答えた児童の割合が増加しましたが、「そう思わない」と答えた児童の割合も増えていることを課題としてとらえ、「いじめはどのような理由があっても許されない100%」を目指して日常的に児童とよく話し合い、ねばり強く指導を続けてまいります。ぜひ、ご家庭の方でもお子さんと話し合う機会をもっていただければと思います。また、お子さんの様子について、ご家庭でお気づきの点がありましたら学校までお知らせください。どうぞよろしくお願いいたします。